

ふくしまの森林文化調査カード

No.39

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区 分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 奥会津の歌舞伎芝居	(ふりがな) のうそんかぶきのいしょう	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	農村歌舞伎		
伝承地域	奥会津一円		
由来(年代)	江戸時代		
内容	<p>南会津町の奥会津博物館が調査した結果では、奥会津には62の歌舞伎舞台と43の歌舞伎一座があった。現在も続いている檜枝岐の芝居は、この膨大な奥会津を中心とした芝居の文化のほんの一部が表出して私たちの目に触れているにすぎないのである。そして、すでに国指定になっている田島の祇園祭には屋台の上で芝居が上演されることはよく知られている。この芝居もこの大きな芝居文化圏の輪の鎖のひとつであることが理解できる。</p> <p>こうした芝居の熱が広まることができた大きな理由は、この地方が幕府の直轄地で会津藩預かりなど、支配が藩の直接ではなく、それだけ自由度が高かったことが挙げられる。芝居は生産的ではなく消費的だとして禁止されたり抑制されたりする。</p> <p>もうひとつ理由をあげるとすれば、この地域の経済と交通のことも考慮に入れた方がよいかもしいない。かつて、奥会津と呼ばれる地域は麻取引でにぎわった。買い付けには遠く上方の商人もやってきた。その結果、富を手に入れる人々が出現する。江戸や上方の商人にとってこの地は決して辺境ではなかつたろう。今でも聞くことのできる話として、南会津町大桃(旧伊南村)の堰まで遡上してきた鱈を捕らえて、籠で背負って今市まで運んで売ったということがある。道は意外と開け、近かつたのである。</p>		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	福島県立博物館(Tel:0242-28-6000) 奥会津博物館(Tel:0241-66-3077) 南会津町教育委員会(Tel:0241-62-6100)		

【フリーフォーマット】

キーワード